



会報（2024年10月～12月）

【10月5日 標葉大レクリエーション交流会・浪江ふれあいグラウンド】



浪江ロータリーが中心となり、地域で新たな人と人のつながりをつくる「標葉大レクリエーション交流会」が初めて行われた。浪江町商工会青年部、浪江青年会議所との共催。浪江、双葉、大熊、葛尾の4町村を中心に約100人が集まった。参加者は、六つのチームに分かれ、玉入れやファミリーゴルフなど運動会でおなじみの競技に取り組んだ。



途中で雨が降ったが、会員が休憩用のテントをグラウンドに運び込み、雨天でも競技ができるように工夫した。リレー方式の借り物競走では、子どもから大人、古くからの住民から移住者

へと物が手渡され、楽しみながら交流の輪を広げていた。

【第2588回例会 10月10日・浪江町商工会】

米山記念奨学生のキム・ドンコンさんによるゲスト卓話が行われた。キムさんは韓国出身で、日本で学ぶようになったきっかけなどについて語った。

【第2589回例会 10月24日・浪江町商工会】



例会に先立ち、浪江町の請戸海岸で清掃奉仕活動に取り組んだ。約25人が参加し、砂浜のごみなどを拾い集めた。請戸海岸を巡っては町が海水浴場としての復活を目指していることから、参加者はプラスチックの破片やペットボトルなどを取り除き、環境美化に奉仕の汗を流した。例会では、板倉孝之会員が健康などをテーマに卓話したほか、泉田征慶ガバナーエレクトや小黑敬三会長、事務局の伊藤まりさんによる能登の災害報告が行われた。



Namie Rotary Club

【第2590回例会 11月14日・浪江町商工会】

泉田征慶会員が次年度の2530地区ガバナーに就任することに備え、例会の時間を活用し、浪江ロータリーが主力になって行う地区行事などの意義や運営方法について理解を深めることになった。2590回例会では、松本敬三直前会長が「地区3大セミナーについて」と題して卓話した。

【第2591回例会 11月28日・西郷村】

第2591回例会は喜多方ロータリー、白河ロータリーとの合同例会として行われた。会場となった東京第一ホテル新白河には、3クラブの会員が集い、旧交を温めるとともに今後のさらなる交流推進を誓い合った。

【12月7日 泉田征慶ガバナーエレクト国際協議会壮行会・郡山市】



泉田征慶ガバナーエレクトの国際協議会（2025年2月9～13日・米フロリダ州オーランド）への壮行会が郡山市で開かれた。泉田ガバナーエレクトは、県内各地から集まったロー

タリアン160人の前に、ディープ・パープルの「スモーク・オン・ザ・ウォーター」を入場曲として登場した。世界中のガバナー就任予定者が一堂に会する研修に向かう泉田氏に、早川敬介ガバナーや阿久津肇、大橋広治、渡辺公平パストガバナーらが激励した。泉田氏は「激励の言葉を胸に、次年度のかじ取りができるよう勉強してくる」と謝辞を述べた。鈴木邦典規定審議会代表議員（白河RC）の規定審議会出席の壮行会も兼ねて開かれた。



壮行会の運営には、松原茂実行委員長の下、浪江ロータリー会員が一丸となって取り組んだ。親交のある富岡ロータリーからは、宮本政範会長らが出席した。



【第2592回例会 12月12日・浪江町商工会】

クラブの年次総会として開かれ、次年度の理事会構成などが報告された

【第2593回例会 12月26日・如水】



創立55周年の記念例会として開催した。例会では、小黑敬三会長が「浪江ロータリーは東日本大震災後に大変な時期があったが、歴代会長のご努力で活動をつなぐことができた」とあいさつした。続いて、50周年式典以降のバスト会長として、重富秀一会員（2019～20年度）、増子義夫会員（2020～21年度）、松原茂会員（2022～23年度）が、それぞれの会長年度の出来事やロータリー活動への思いなどを語った。



例会後には懇親会が開かれ、参加者は互いの親睦を深めながら、震災からの地域再生が進む地域でのさらなる奉仕と地域貢献を誓い合った。



浪江ロータリークラブ

設立 昭和45年1月9日

例会日時 隔週木曜日

12:30～13:30

例会場 浪江町商工会

テリトリー 浪江町・双葉町
大熊町・葛尾村